

湯澤さんのお話を聞いて

私は今日湯澤さんに「さわやか」「やさしい」「逃げない」「あきらめない」ということを教えてもらいました。この中で私は「逃げない」というお話が心に残りました。私は自分か「やりたくないな」と思ったり、たことはすぐに逃げようとしてしまいます。でも湯澤さんは「逃げなければ自分の夢に近づくとおっしゃっていました。この言葉は私に勇気を与えてくれました。私もやりたくないことは逃げたいですが、自分の夢に近づくために「逃げない」ということを中学校では言われたこと思い出します。

湯澤さんは「人間の脳はまた1%しか才能を發揮していません」とおっしゃっていました。これから多くの人が社会で活躍して、その才能は開花していくとおっしゃりました。それを聞いて私はこれから多くの人の種に開花させようと思いました。

今日湯澤さんは世界で活躍している日本人の話を聞いていました。その中で特に私に心に残った話は、自分でためたお金を困った人にあげた人のお話です。私にはそんなことはできません。その人を尊敬しました。中学生になったら、心を広くもつと決心します。

わやかに優しく逃げずあきらめない

(八)

スプーン一ぱいの土から五億十億ものひ生物  
がいて、それをそれが役割をもっていることから、  
いらぬ、役に立たない人間なんていないという  
ことを学びました。

また、会社で働くにも勉強をするにも  
「やる気」が大切なことがわかりました。

ぼくは、人によつて、国によつて、宗教によつ  
てやることがちがうことが印象にのこりまし  
た。イスラム教徒は、人間との約束より、  
神様との約束のほうが大事なことは日本  
とはちがうと思います。でも、非難したり、  
いじめたりするのは絶対にダメなことを  
知りました。学校でも、  
自、勿とちが、ていても、快く受けとめるし

といわれています。七年前の東日本大震災  
や原子力発電所の事故で、てきた  
人も同じです。災害で悲しくつらい目に  
あつて、さらにいじめられたりしたら、も、とつ  
らいと思います。

ぼくはここから、自分とちがったことを言  
う、する人でも、仲良くしていきたいです。  
これから、二度と戦争がないように  
できればいいなと思います。

私か、湯澤さんの話を聞いて、印象に残っている話は、  
サウジアラビアの話です。

サウジアラビアの人が、待ち合わせになかなか来なかつたので、電話をして、なせ来なかつたのか、聞くこととしたそうです。でも、ふつとあることに気が付き、電話をしないで、よかつたと思えたそうです。なせかというところ、サウジアラビアでは、宗教があり、人との約束よりも、神様との約束の方が大切なので、人との約束に行かないのは、当たり前だそうです。もし、「何で来なかつたの」と聞いていたら、仲間は「すれなどにされてしまふ」そうです。

私は、そこから、各国の文化を尊重し合うことが大切だと学びました。それは、人もたと思えます。人それぞれ個性を尊重し合うことを大切にしていきたいです。

湯澤さんの話を聞いて

(13)

湯澤さんの話を聞いて、私が一番心に残ったのは「爽やかで優しく、逃げず、あきらめない」という言葉です。人は必ず役割を持っていて小宇宙というのがあるのかもしれない。また、誰に対しても優しくすることの大切さを知りました。何事にも逃げずに挑戦することで見えてくるものもあるのだと思います。湯澤さんの話を聞いて、私が大切にしようと思ったことは、人とのつながりを大切にすることです。これからは中学に入り、人間関係も大切にしたいと思っています。

もう一つは、にげずに挑戦することです。私は、できないと畏れたら、あきらめる時が多々ありました。だけれど、これからは、最後まであきらめず、挑戦しようと思います。

湯澤さんの話を聞いて

「世界で僕らしく、私らしく！」というテーマで、湯澤さんのお話を聞きました。私は、この話の中で、私ならではの役割や特徴を探してみたい、という人になりたいかを考えた。私に、それが大切だと感じました。私は、やってみると、いい仕事がある。その仕事では爽やかで優しく人に接する、ということが必要だと考えました。これから、将来やりたい仕事のために、まずは人と接する第一歩となるコミュニケーションを、この中で、練習と笑顔、二つの目標をもつて生活していきたいです。